

まちづくりの目標

安心のまち
美しいまち
親切なまち

高芝だより

高芝地区自連・高芝地区社協会報

高芝地区自治会連絡協議会
高芝地区社会福祉協議会

第46号

編集・発行/広報編集委員会

将来展望見据え

心一つに 進めよう体制強化

高芝地区自治会連絡協議会 会長 庄司 孝憲

新高根・芝山地区自治会連絡協議会(地区自連)の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年5月、新体制発足に伴い大きな組織のトッ

プを担って以来、その立場に立ってはじめて分かる事の重さを改めて実感してまいりました。今年

道筋を付ける年と考えています。最大の懸案事項「芝山第3調整池移管」

問題は避けて通れませんが。さらに人口高齢化に伴う古くて新しい日常生活の課題も浮き彫りになって

いきます。最大の懸案事項「芝山第3調整池移管」対話なくして前進はあり

えません。そのためには地区自連加盟29町会・自治会が一枚岩となる必要があります。



新年(辰年)の幕開け——。紙面を通してお祝いを申し上げます。高芝地区自連に加盟する29の町会・自治会長の皆様、新体制となってまだ1年足らず。この組織が今年はどのような目標を掲げ、達成できるのか。個々の課題を共通の問題として真剣に議論する年にしたいと考えます。高芝地区の未来を想像して今、足元を見つめ直してみましよう。

この町を見つめて!

高芝地区自治会連絡協議会



船橋市高根町「観行院」本堂に祀られた木彫りの「龍」

辰

- ◆高根東町会 会長 柴田 良一
- ◆エトワール仲村自治会 会長 田畑 雅嗣
- ◆高根セキスイ自治会 会長 大島 正敬
- ◆南高根自治会 会長 栄 毅熾
- ◆西高根町会 会長 本木 次夫
- ◆高根木戸第一町会 会長 横張 正巳
- ◆高根木戸西町会 会長 藤代 敏雄
- ◆雄鹿野自治会 会長 石渡 幸一
- ◆オークタウン船橋自治会 会長 金森 定夫

- ◆興和芝山自治会 会長 永井 明雄
- ◆芝山西馬込自治会 会長 小野 共幸

- ◆芝山馬込自治会 会長 岡村 敏生
- ◆芝山第二自治会 会長 藤代 忠和

- ◆芝山東町会 会長 友行 貴久
- ◆大慶山住宅自治会 会長代行 横山 哲雄

- ◆芝山中央町会 会長 梶月 輝久
- ◆旭芝山自治会 会長 松本 祐介
- ◆親和町会 会長 石井 忠
- ◆松三町会 会長 鬼島 晃信
- ◆はざま自治会 会長 子安 茂久
- ◆睦町会 会長 田島 一夫
- ◆京成町会 会長 東条 美絵
- ◆山ゆり町会 会長 鶴飼 康彦
- ◆芝山6丁目町会 会長 田原 康夫
- ◆三芝自治会 会長 高山健太郎
- ◆三笠自治会 会長 山田 宣昭
- ◆芝山ホープタウン自治会 会長 竹内 英雄
- ◆星和町会 会長 得能 政雄
- ◆わかば町会 会長 田村 浩行

知っていますか「高芝地区の今」

約65万都市・船橋の中央部に位置する新高根・芝山地区。この地区の総人口をご存じですか。市が昨年10月1日に発表した最新の人口は2万7674人、世帯数は1万3610世帯となっています。戸建て住宅の多い新高根から高層住宅を中心にしたUR芝山団地。この一帯の町が形成されて60年以上になります。高齢化率は市全体の24.0%を大きく上回る31.0%。超高齢化社会の中で「安全安心なまちづくり」が求められています。地区自連、地区社協はその先頭に立ち防犯・防災、交通問題や高齢者を対象とする福祉面での様々な支援活動を行っています。私たちの住む町に関心を持つことで新しい視点が見えてきます。まちづくりは小さな疑問から始まるのです。



やっぱり楽しいグラウンドゴルフ

テーマ様々 各部会活発に

まちづくりを担い動き出した地区自連各部会の活動を紹介します。

●スポーツ部会、10月8日、グラウンドゴルフ&ダーツ競技を実施。高根

◆スポーツ大会結果

【グラウンドゴルフの部】高根東小学校グラウンド（参加10町会・自治会74名）

一位 南高根自治会・佐治宜雄▽二位 西高根町会・富岡照江▽三位 大慶山住宅自治会・庄司美知子

【ダーツの部】

新高根公民館講堂（参加5町会・自治会38名）

一位 西高根町会・中澤富夫▽二位 高根木戸西町会・吉野秀夫▽三位 芝山中央町会・黒須正義（ワンズロー）



人気を呼んだダーツ競技会場には74人が熱戦を繰り広げた

東小グラウンド、新高根公民館を会場に白熱した戦いをくりひろげた。結果は左上に掲載。●10月20日、特殊詐欺の実態を学ぶ生活部会の出前講座が開かれ、市消費生活センター、船橋警察署より被害の実態や被害対策などを学んだ。



特殊詐欺の被害防止を考える出前講座には高い関心を集めた

●11月22日、環境部会による船橋市の西浦資源リサイクル施設、南部清掃



南部清掃工場見学会の様子

工場を視察、ゴミ処理問題への関心を高めた。●11月25日、社会教育委員会主催の「船橋の未来図」をテーマに第3次総合計画の概要解説があった。人口65万都市の未来への指針などが示された。



飲酒運転根絶へ 取り締まり強化

船橋東署管内

船橋東警察署管内飲酒運転根絶協議会総会が12月8日、船橋市習志野台出張所で開かれた。同署からはコロナ禍が薄れ、飲酒運転件数は増えている状況説明と、「取り締まりについても夜間と同時に早朝の取り締まりが必要だ」との考えが示された。また、津田沼、原地域の商店街や飲食店、さらに事業所などへのポスターによる啓発を継続的に実施することが了承された。歳末警戒を兼ねて12月13日に船橋署、14日には船橋東署がそれぞれの管内で飲酒運転根絶への啓発活動を実施した。

特別寄稿

20年余にわたり高芝地区連最大の課題となつている「芝山第3調整池」の整備。行政計画でも明確に公表されていた「水辺空間を利用した市民憩いの場」整備問題は都市再生機構（UR）の所有管理地となつているため船橋市への移管が明確となるまでは将来構想も具体化できないとして今日まで経過してきました。しかし昨年6月19日、地区連あてに移管時期と

返還後の方向性として広場を市民に開放予定であることが説明され、さらに10月16日には「生涯スポーツ課」より芝山中学校に隣接する広場について具体的説明がなされました。その後、11月9日、

区連の課題であり、再三にわたり市長陳情を行つてきた問題であるにも関わらず、その一角である広場の利用について突然、関係者への説明は信義則に反する。地区連は早くから広場

動き出した懸案事項

芝山第3調整池整備

高芝地区連相談役 本木次夫

芝山団地第3調整池有効利用計画（素案）のイメージ図



スポーツ広場

第3調整池

は暫定使用を認めるよう要望していたので提案に異存はない。しかし、令和4年6月に地区連より提起した文書への回答もない現状でURからの移

管時期が明確となり船橋市としての方向性が定まった段階で先ず、地区連に情報を提供することが行政と市民との信頼関係を保つうえで当然のこと

提起を受け、昨年11月22日に下水道河川管理課長を中心として新高根公民館を会場として地区連あてに改めて説明がなされました。限られたスペースな

のでその要点のみとなりますが、次の通り報告します。

一、URからの移管は本年3月末となる予定。二、今後広場に関する所管は「生涯スポーツ課」となる。三、「池」部分の整備に関することは「公園緑地課」となり、市民憩いの場を目指す。四、池の調整機能に関する管理は従来通り「下水道管理課」となります。

一人は
みんなのために
みんなは
一人のために

みんなを支える地域の福祉

高芝地区社会福祉協議会

コロナ禍の経験を改善に

高芝地区社協会長 本木次夫



謹んで新春をお喜び申し上げます。年頭にあたり会員皆さまのご健勝を

併せて、日頃ご協力を頂いております機関・団体のご発展を心よりお祈り申し上げます。

3年余にわたり続いたコロナ禍も昨年後半よりようやく収束の兆しが見えてきたら今度は季節性

インフルエンザの全国流行が続く、すでに警戒レベルをはるかに超えています。地区社協の活動は高齢者を対象にした事業が多く、予断を許さない日々がこれからも続くと思われまます。

この間、社会生活はいろいろと変わりました。地区社協の活動を含めた地域活動も例外ではありません。この3年余の中で気づかされ、学ん

だことはお互いに提起しつつ改善につながるものは大胆に見直す年とすることを確認し、ご挨拶いたします。



誰もが気軽に入れる「ひだまりカフェ」

お友達誘って
お茶しない？

高芝地区社協の新事業「ひだまりカフェ」が本格オープンします。誰もが来店し、お茶を手にゆったりとした時間を過ごしてもらおうと、新高根公民館を中心に地域でも開催する計画です。第一回は4月23日。二回目以降は未定ですがご期待ください。

福祉まつり4年ぶり一斉再開

予想上回る反響に
スタッフも「ホッ」

私たちの福祉活動いかがでしたか。4年ぶりに開催された高芝地区の福祉まつり。10月1日、全面改装中の新高根公民館で行われ、地域住民ボランティアなど、想定を上回る多くの人たちが溢れました。コロナ禍が薄れたとはいえ全面再開には躊躇せざるを得ない状況もあって、企画は時間も規模も大幅に縮小しました。しかも舞台演出もない、模擬店も少なく、内心「これで人来る？」。そんな心配をよそに「健康」「食」「遊び」の各コーナーの人気は上々。講堂



講堂の健康コーナー①では高齢者の高い関心呼んだ「骨密度測定」②

では骨密度、血管年齢測定、血圧測定、健康相談などに高齢者の長い列。児童ホーム体育館の木のおもちゃ広場では親子が楽しそうに遊ぶ姿が見られました。反省点もありますが「結果良ければすべてよし」と総括しました。今後ともご支援のほどお願い申し上げます。



ボランティアを楽しんだ県立船橋東高校の皆さん

「地域の方と成功させた祭りは圧巻でした。様々な世代の方と交流する楽しさを実感しました」
(2年・鈴木さん)
▼私のボラ経験談▼
「子どもと遊ぶ貴重な体験。子どものことを考えながら一緒に遊ぶことにすごくやりがいを感じました」(1年・伊藤さん)

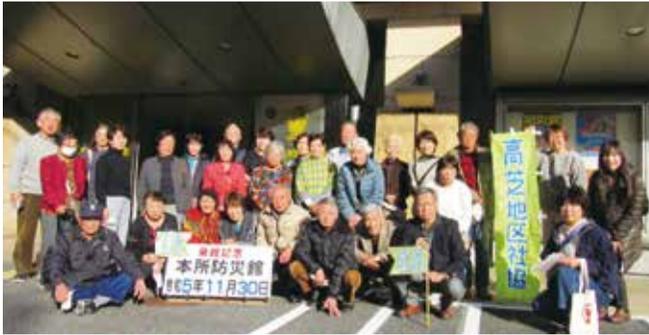
中部ブロックの仲間も頑張った!



◆高根台地区 11・18
子どもたちも前面にミニコンサート、たかね台寄席、まちづくりサミットなど様々な行事を企画。多くの人が訪れ、高根台公民館は笑顔と感謝ムードに包まれた。

◆高根・金杉地区 11・12
福祉ショップも人気
会場の高根公民館では御滝中の管弦楽演奏やベリダンクス、似顔絵コーナー、屋外では新鮮野菜の販売、餅つき、模擬店などが人気を呼んでいた。

◆夏見地区 11・30
船中、八栄小の演奏も
「老いも子も笑顔で」をスローガンに障害者体験など多彩な催しを展開。会場の夏見公民館は約800人を超す入場者でにぎわいました。



高芝地区社協に「ミニデイサービス」が始まって23年目を迎えました。新年早々の定例会はいかがでしたか。ボランティアの皆さんを含め約70人が一堂に会し、にぎやかなミニデイとなりました。この時ばかりは友人、仲間、に囲まれ「自分一人じゃないんだ」と感じたと思います。昨年実施した25人アンケートで現在の健康状態

23年目の ミニデイサービス 新年迎え

について22の方が「健康・元気」と答え、「今一つすぐれない」が3人でした。コロナ禍が薄れ、積極的に外出して人とお話しをすることで健康が保たれていると思います。一方、「新高根公民館までの坂道が辛い」と答えた方も多く、今後、会場を広く地域に分散して開催するなど、改善策を考える一年にしたいと思います。

笑顔に会える…

25人アンケートに見る「今の私」



舞台上で歌や踊りを披露した後、高齢者との触れ合いを楽しむ保育園児たち＝昨年12月のミニデイサービスで

その日が「待ち遠しい」

アンケートは出生地（故郷）をお聞きしました。秋田、山形、福島、新潟、東京、山梨、岐阜、大阪、鳥取、佐賀、満州・

「一人じゃない！」

大連と、ほぼ全国から来られた方々でした。現在の居住年数も58年〜15年。平均38年で、傾向は若い世代の流入か。皆さんはどのようなときに郷里を思い出すのでしょうか。また「住みやすさ」については芝山地域の居住者のほとんどが「住みやすい」と答え、新高根では買い物、坂が多い、交通の便などを理由に「住

みにくい」と答えた人が数人いました。ミニデイサービスでは「待ち遠しい」と答えた人がほとんどで「月2回はできないか」という意見もあり、職員の励みとなる結果でした。

高芝地区社協の各種事業を支えるボランティアの慰労を兼ねたバス研修が11月30日、東京消防庁

4年ぶり ボランティアバス研修 防災体験に空港での食事

の防災体験施設「本所防災館」で行われました。参加者は総勢30名、社協事務局6名。関東大震災から100年目とあって「防災への関心は高いですね」と話す担当者の案内で地震、暴風雨体験した後、羽田空港第3ターミナルまで足を延ばし、食事や買い物を楽しんだ一日でした。

夢

「元気が一番」「自分のことはすべてできる事」「世の中の事柄をできるだけ見聞する事。何事も興味を持ち続けたい」「旅行がしたい」など、何事も健康で元気な体を維持し、意欲的な生活を送りたいものです。

あなたの人生振り返ったら何色？「青」「バラ色」「赤」「黒」「オレンジ」「緑」。幸せな人生、まだまだ明るく過ごしましょう。最後は夢（希望）。「楽しく健康でいられる事」



地区社協事務局の女性スタッフ（写真左から）西村さん、深沢さん、松井さん、星川さん

福祉相談！お気軽に



脳トレに真剣！＝西高根町会のふれあいサロン

高芝地区社協事務局では生活支援コーディネーターに新しく松井るみ子さん（写真中央）が就任致しました。地域3人、生活1人の計4人体制。何でも相談に対応します。

長年のボランティアご協力に感謝！

感謝状 奈良シツエ様（芝山団地自治会）高芝地区社会福祉協議会登録ボランティアとして平成23年からミニデイサービス等の事業にご尽力、貢献して頂きました。令和4年度をもって退会されるにあたり、心より感謝の意を表し厚く御礼申し上げます

地区社協ボランティア募集

047・4699・5050

- ◆地区社協事務局人事
【異動】(11月1日)
(地域コーディネーター)
星川直美さん(生活支援コーディネーター)
【新任】(同)
(生活支援コーディネーター)
松井るみ子さん
【退職】(10月31日)
増田浩子さん(地域コーディネーター)

*地域ふれあいサロン
知恵と工夫で
活発化の傾向
コロナ禍で開催が制限されていた地域の「ふれあいサロン」が今年度は活発化する傾向がみられました。公民館のミニデイサービスとは違い、各町会・自治会が地元の人たちとのコミュニケーションの場として開催。それぞ

れが知恵と工夫でテーマをもった内容となっているようです。年度末まで、まだ開催予定の所もあり、地域ミニデイとともに年齢を問わない、ふれあいの場が広まってほしいと思います。世帯数が少なく会館をを持たないところは他町会との合同開催で親睦を図るなど、社協も応援しています。